

令和5年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 情報の扱い方に関する事項について、理解がよくできている。
- 領域「書くこと」及び、記述式の問題で正しく解答することができている。
- 言葉の特徴や使い方に関する事項に課題がある。

【算 数】

- 領域「数と計算」について、理解がよくできている。
- 「思考・判断・表現」を問う設問に対して、粘り強く考えることができている。
- 「知識・技能」を評価する問題に課題が見られる。

2 児童質問紙に関する結果の概要

- 積極的に読書活動を行っている。
- 地域行事が活発で、児童も積極的に参加している。
- タブレットなどのICT機器を活用する頻度が少なかった。
- 学級会で話し合ったり、全員で決めたためあてに向かって努力したりする経験が不足している。

3 取組についての評価

(1) 教科に関する取組

① 効果があった取組

- ・算数科の重点単元における少人数分割、TT指導の実施
- ・全校での授業改善の推進（書く活動や交流といった言語活動を取り入れた授業）
- ・国語、算数で定着が不十分だった内容の重点指導

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・児童が、主体性をもって自ら取り組む活動を位置付けた授業づくり
- ・国語、算数のパワーアップタイムにおける内容見直し
- ・学習場面におけるタブレットの活用の位置付け

(2) 児童質問紙の内容に関する取組

① 効果があった取組

- ・地域をテーマにした生活科、総合的な学習の時間のカリキュラム化と実施
- ・全校での名人の取組（読書名人、発表名人等）

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・児童会や学級会における話し合い活動の充実。